

インドネシア語専攻モデルカリキュラム

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:00-10:30				▲ Freshman English I (ML)	▲ アカデミック英語 I	
2時限 10:40-12:10		■ インドネシア研究入門	● インドネシア語基礎 I (c)	宗教学 I	■ 東南アジアの宗教と文化 I	
3時限 13:10-14:40	● インドネシア語基礎 I (a)	● インドネシア語基礎 I (b)	▲ アカデミック英語 I	● インドネシア語基礎 I (d)	● インドネシア語基礎 I (e)	
4時限 14:50-16:20	▲ Freshman English I (ML)	▲ ビジネス英語 I				
5時限 16:30-18:00						

オンデマンド：◆基礎演習 I ■アジア研究入門

必修・選択必修 ●=地域言語科目 ▲=英語科目 ■=研究科目 ◆=基盤教育科目

	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
1時限 9:00-10:30						
2時限 10:40-12:10		● インドネシア語総合-1	● インドネシア語応用 I		▲ English for Multicultural Communication	
3時限 13:10-14:40	■ インドネシアの政治・経済 I		■ 東南アジア言語概論 I	■ イスラム文化論 I		
4時限 14:50-16:20	○ 研究演習	▲ English for Multicultural Communication		● インドネシア語総合-2	■ ジェンダー論	
5時限 16:30-18:00						

必修・選択必修 ●=地域言語科目 ▲=英語科目 ■=研究科目 ○=演習科目

▶1年次(前期)

アジア言語学科のインドネシア語、ベトナム語、タイ語専攻は同じカリキュラムの形式をとっており、東南アジア地域言語と英語を同じ比率で学びます。インドネシア語は比較的学びやすい言語ですが、そのぶん学習進度は速くなります。

1年次には地域言語を週5回、英語を週4回、必修科目として履修します。研究科目の「インドネシア研究入門」ではインドネシアに関する基本的な知識を得ることが、「アジア研究入門」ではアジアへの視野を広げることができます。

「東南アジアの宗教と文化」は、担当教員によりさまざまな内容を扱いますが、ここではインドネシア・バリ島のヒンドゥー教文化と芸能、宗教の結びつきを扱う授業を開講しており、実際にガムラン（器楽合奏・民族音楽の総称）の体験学習を行っています。

▶3年次(前期)

3年次の地域言語は「インドネシア語応用」(3・4年選択必修)と、「インドネシア語総合」(3・4年必修)を履修します。「インドネシア語総合」は、内容の異なる授業が複数開講されており、文化、芸術、地域言語など、扱うテーマは多岐にわたり、語学力と教養を同時に身につけていきます。

英語必修科目「English for Multicultural Communication」は、他言語専攻の学生と混合クラスで週2回行われます。内容の異なる授業が複数開講されており、学びたいテーマの中から選択します。卒業までに、英語とインドネシア語、どちらも社会に通用するレベルをめざします。